



令和8年度
SCHOOL GUIDE



《目指す学校像》

地域で光り、地域を照らす

京都府立与謝の海支援学校

地域で輝いて生きる

《教育目標》

「自分で考え、人とつながり合い、たくましく、豊かに生きる子どもたちを育てる」

- 命を大切にし、健康に生きる力をつける。
- 基礎学力や社会性を身につけ、自立し社会参加する力をつける。
- 自分の思いを発信し、主体的に生きる力をつける。
- 人とのつながりの中で、互いの良さに気づき、豊かな心で生きる力をつける。

目指す子ども像



小学部

自分の思いを表現し、健康で生き生きと主体的に活動できる児童

中学部

伸び伸びと学校生活を送り、友だちと協力し共感し合える関係を築きながら意欲的に学び、主体的に行動できる生徒

寄宿舎

規則正しい生活の中で基本的な生活習慣を身につけ、集団生活を通して協調性や自治の力を育みながら主体的に生活を送ることができている児童生徒

高等部

自分で考え、主体的に学校生活を送り、リーダー性を発揮しながら生き生きと活動できる生徒



本校の教育課程

地域に貢献する

教科別の指導 ・国語 ・算数/数学 ・生活 ・理科 ・社会 ・職業 ・家庭 ・情報 ・図画工作/美術 ・音楽 ・保健体育

各教科等を合わせた指導

- ・日常生活の指導 [基本的生活習慣の内容、集団生活に必要な内容]
- ・遊びの指導 (小学部) [遊びを学習活動の中心に据え、心身の発達を促していく学習]
- ・生活単元学習 [生活の質の向上を目指し、テーマに沿って行う学習]
- ・作業学習 (中学部・高等部) [職業生活や社会自立に必要な事柄を総合的に学習]

その他領域等

- ・自立活動
 - ◇ 健康の保持
 - ◇ 心理的な安定
 - ◇ 人間関係の形成
 - ◇ 環境の把握
 - ◇ 身体の動き
 - ◇ コミュニケーション
 - ・特別活動 (全校行事、学部行事、学級活動 等)
 - ・特別の教科 道徳
 - ・総合的な学習の時間/総合的な探究の時間
- 自立活動・・・児童生徒が自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度、及び習慣を養い、心身の調和的発達の基盤を培う学習。
- ※「自立活動」の時間として設定し指導を行うと共に、学校教育全体を通じて行う。また、学級全体で行う場合と、必要な児童生徒を抽出 (療育・言語・運動機能) して行う場合とがある。

◇それぞれのステージや卒業後に必要な力を身につけ、生活の質を高める◇

卒業後

高等部

- ・進路希望の実現をめざす。
- ・豊かな人間性と社会性の育成をめざす。
- ・卒業後に必要な力の育成をめざす。

中学部

- ・興味関心を広げる体験的な活動に取り組む。
- ・集団の中で役割を果たしたり、友だちと協力したりして活動し、実生活に生かす。

小学部

- ・生活に生きる力の基礎となる学習・活動に取り組む。
- ・「やってみよう!」「できた!」喜びを積み上げ、自己肯定感を高める。

就学前

通学バス



宮津・与謝方面、京丹後方面を5コースで運行。

標準校時表

9:00	登校・日常生活の指導・自立活動
10:00	午前の授業①
11:00	午前の授業②
12:00	給食・昼休み
高等部 13:20 小中学部 13:30	午後の授業
14:30	日常生活の指導・自立活動
15:10	下校

※水曜日は午前中授業、13:30に下校。

標準服



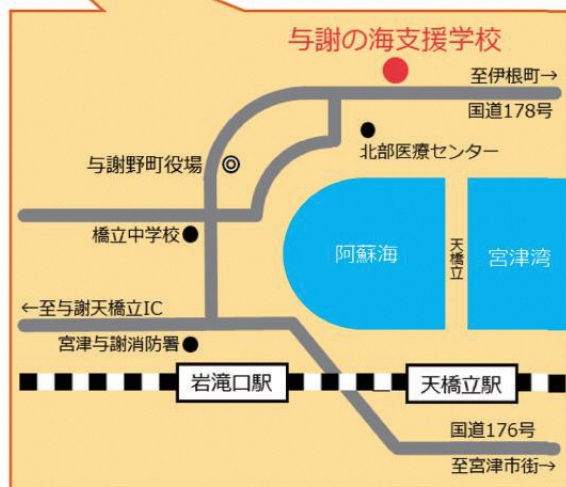
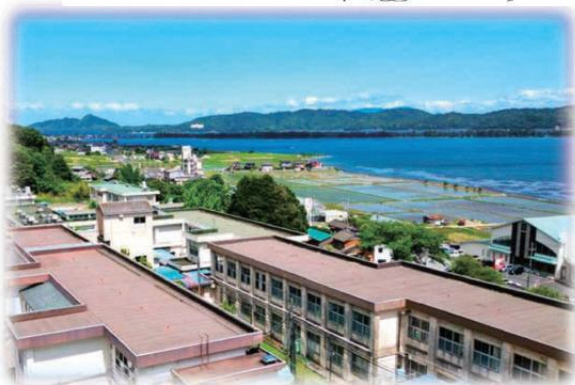
年間行事

月	学校行事、取組等
4	始業式、入学式 出身校園連絡会
5	修学旅行(高等部) 学校説明会
6	あそ子ども交流会(小学部) 橋立中学校との交流及び共同学習(中学部) オープンスクール(高等部) 職場実習(高等部)
7	夏まつり(寄宿舎) 校内実習、施設実習(高等部) 終業式
8	職場実習、施設実習(高等部)
9	始業式 ふれあい・心のステーション(高等部) 宮津天橋高等学校加悦谷学舎との交流(高等部) 修学旅行(小学部)
10	修学旅行(中学部) 体育祭 体験学習 丹後府立高校・与謝の海支援学校交流会(高等部)
11	体験学習 橋立中学校との交流及び共同学習(中学部) YOSAフェスティバル
12	クリスマス会(寄宿舎) 校内販売会(高等部) 地域販売会(高等部) 終業式
1	始業式
2	入学・転学説明会 入学者選考(高等部) 校内実習(高等部)
3	卒業生を送る会 卒業証書授与式 修了式

高等部卒業生の進路状況(過去5年間)

卒業年度	就職	高等技術 専門校	福祉施設関係		その他	計
			通所施設	入所施設		
令和3年	4		11			15
4年	3		10			13
5年	6		11			17
6年	7		12		1	20
7年	5	3	9			17
計	25	3	53		1	82

【 与謝の海支援学校 アクセス図 】



京都府立与謝の海支援学校

〒629-2261 京都府与謝郡与謝野町字男山945

TEL 0772-46-2770

FAX 0772-46-2771

E-mail yosanoumi-s@kyoto-be.ne.jp

ホームページ <http://www.kyoto-be.ne.jp/yosanoumi-s/>



ホームページ



@YOSANOUMI_SINCE1969

Follow Me! /



Instagram

はじめました!!

《 学校までのアクセス 》

●自動車道

国道176号「消防署前」交差点から国道178号を伊根方面へ約5分
京都縦貫自動車道「与謝天橋立IC」から約10分

●公共交通機関

丹後海陸交通バス「支援学校下」バス停下車
京都丹後鉄道「天橋立駅」から約20分、「岩滝口駅」から約13分

【丹後地域教育支援センター よさのうみ】

就学前の教育等機関や通常学校に在籍する、幼児・児童生徒の日常生活の困難さや学びづらさについて相談支援を行っています。

相談支援内容

- ・教育相談（巡回相談、来校相談、電話相談など）
- ・研修会等への講師の派遣
- ・研修講座の開催
- ・教材に関する相談、教具の貸し出し
- ・特別支援教育に関する情報提供 など

教育相談窓口

- ・月曜日～金曜日（学校休業日を除く）
- ・受付時間：8時30分から17時まで